

連携だより おおもり日赤



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

〒143-8527

東京都大田区中央4丁目30番11号

TEL03-3775-3111(代)

FAX03-3776-0004(代)

春号 (第31号)

平成23年4月発行

日本赤十字社東京都支部

大森赤十字病院



★★★院長就任挨拶 ★★★

「院長就任挨拶」



院長 中瀬 浩史



山之内博前院長の後を受けて、大森赤十字病院の院長を拝命いたしました。2年間、副院長として病院運営を補助してまいりましたが、まだまだ至らぬ点多く身の引き締まる思いでございます。

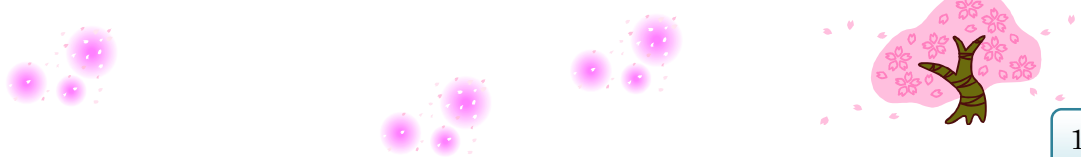
最初にお伝えしたいことは災害医療についてです。東北関東大震災をうけて、地震発生3時間後には大森赤十字病院から救護班を出動させ、石巻赤十字病院や近隣の救護所において医療援助を続けております。災害医療における日本赤十字社の使命を再確認するとともに、このような活動が参加した職員一人一人の自発的な奉仕によって支えられていることをお伝えしたいと思います。

本年10月に二期工事が完成する新しい病院は災害医療への対応を一つのテーマとして計画されています。石巻赤十字病院と同様の免震構造を採用しており、当地の災害時にも耐えられるものと思います。最悪の場合にも赤十字病院としての役割が果たせるように着実に準備を進めていきたいと思っております。

次にお伝えしたいことは地域医療における当院の役割についてです。2年前に当院に副院長として着任して以来、「大森赤十字病院は地域の医療機関にとって本当に役立っているのか？」という問いかけを持ち続けておりました。地域の先生がたに役立ったというのは、ご紹介していただいた患者さんお一人お一人が当院を受診して良かったとっていただけること、紹介された先生がたも適切な医療機関を紹介することで主治医としての責務をはたしたとっていただけることであると考えております。

役に立つ病院の条件は第一に当院での医療が良好な結果をうむことです。そのために医療スタッフの拡充と医療技術の向上、医療安全対策の徹底、検査診療機器整備などの病院機能の拡充にさらに努力を続けていきます。次には診療の過程の問題です。当院の医療スタッフの対応が適切であることが重要と考えております。形の上での丁寧さではなく、状況に合わせ多面的かつ臨機応変に対応する能力が問われます。この二つは地域の医療機関から支持していただくには必須のことと思っております。当院の理念である「信頼され心あたたまる病院」とはこの二つの柱を含んだものであると考えております。

最後に当院の改築工事も進み、本年度は二期工事も完成する予定です。建物は完成いたしますが、医療機関としてはまだまだ成長期にある病院です。これからも従前にもましてご指導いただけますようお願い申し上げます。

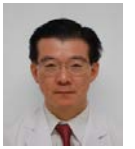


★★★副院長就任挨拶 ★★★

「新任のご挨拶」



副院長 後藤 亨



はじめにこのたび東日本大震災に被災された地域の皆様にお見舞い申し上げるとともに、復旧にむけてご尽力なさっている全ての方々に心より敬意を表します。

このたび4月1日より院長に就任する中瀬副院長の後任として副院長を拝命いたしました。中瀬新院長、そしてもう一人の新任副院長である市川先生とともに病院の運営および地域医療の充実に尽くしていきたいと思っております。

私は平成11年6月に消化器科副部長として赴任いたしました。当初は、あまりに老朽化した建物で改築の目途もなく、先の見えない状況でした。しかしそんな中でもスタッフの方々は熱心でやる気に満ちており大変感化されました。そこでまず目標を「地域一番店を目指す」として、皆で頑張りました。徐々に消化器科の実績も上がっていき、目標を「日本トップクラスの診療」、「当科での勤務が誇りに思える診療科にする」と高めながら今日に至り、当科は消化器の領域では一目置かれる存在になり得たと自負しております。その経験で感じることは、大切なのは設備ではなく、人であり、いかにモチベーションを高めていくかということ、高い目標をもつということでした。

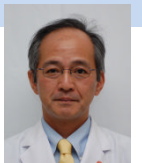
今回若輩の身ながら副院長の大役を仰せつかりました。今後は管理者としての業務や経営面での知識など学んでいかなければならないことがたくさんあると胆に銘じております。しかしやはり基本は医師ですので、先ほど述べました経験を生かし、まずは診療を通じて、「当院での勤務が誇りに思える病院」を目指していきたいと考えております。

私が赴任した当時の建物は、現在管理部のみになっておりますが、先日の地震では激しく揺れ、物が散乱しました。一方、昨年完成した新病院は大きな問題はなく、新しい建物の安心感を実感いたしました。皆様のご支援を受け今年秋には全面完成の予定です。今後はハード面だけでなくソフト面も含めて、当院の基本理念にある「信頼され心あたたまる病院」の実現を目指してまいりますので、先生方の変わらないご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

「ご挨拶」



副院長 市川 敬太



私は平成10年2月、当院に麻酔科医として赴任しました。以来13年間手術麻酔と麻酔科外来（ペインクリニック）に従事してまいりました。昨年新病院開院に伴いICUが開設され、集中治療室の管理にも携わるようになりました。この間大森医師会をはじめとして、地域医療を担う先生方からは多大なご支援とご指導をいただき誠にありがとうございました。

このたび副院長を拝命し、その重責に身の引き締まる思いです。当院はこの後2期工事の竣工移転という課題に直面します。また、他の病院でも抱えている医師や看護師の確保、職員教育、経営体質の強化、情報収集力の増強、意思決定・伝達の迅速化などは当院でも大きな問題です。また平時とは別に、災害等緊急時における地域支援体制の確立も重要な問題だと考えています。できることから一つずつ皆様と相談させていただきながら進んで行くしかないと考えています。

ところで、新病院での診療が始まっておよそ1年が経過しますが、新手術室での手術件数も順調に増加し、毎月対前年110%以上の稼働があります。麻酔科が管理して行う大きな手術の割合も増え、今では月間100件を超える手術を麻酔科管理で行っております。緊急の手術も増えましたが、スタッフの努力もあり遅滞なく対応されております。今後もさらに安全で高度な手術を提供できるよう機器整備に努め、また周術期医療の質の向上を図って参ります。手術が必要な患者様がいらっしゃいましたら、是非当院へご紹介ください。

今後は大森赤十字病院の理念である「心あたたまる医療」を大切にしながら、後藤副院長とともに中瀬院長をサポートし、全職員と一丸となって地域の皆様方に喜んでいただける医療を提供し続け、当院を皆様に愛される病院に育てていきたいと考えております。至らないところも多々あると存じますが、ぜひ今後も益々のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。



東日本大震災に対する当院の対応

平成 23 年 3 月 11 日に宮城県三陸沖でマグニチュード 9.0 というわが国で観測史上最大の地震が発生しました。

当院では、地震発生直後より院内に災害対策本部を設置し、地震発生から 3 時間後には救護班を派遣いたしました。全国各地より派遣された救護班とともに懸命な活動をし、現在も順次、救護活動に当たっております。

また、災害によるストレスを受けた被災者に対し、精神的なダメージ、心身の疲労、避難生活などから生じると考えられるストレス状態の軽減を図るため、「心のケアチーム」の派遣も行っております。

≪ 当院救護班派遣状況 ≫

平成 23 年 4 月 10 日現在

班	派遣員	派遣先	活動期間
1 班	医師 2 名・看護師 3 名・事務 2 名 計 7 名	石巻市 北茨城市	3/11～3/13
2 班	医師 2 名・看護師 3 名・事務 2 名 計 7 名	石巻市 東松島市	3/12～3/14
3 班	医師 2 名・看護師 4 名・事務 2 名 (心のケア看護師 1 名含む) 計 8 名	石巻市 (石巻日赤)	3/13～3/17
心のケアチーム	看護師 1 名 (神奈川・千葉県支部看護師合同)	石巻市 (石巻日赤)	3/14～3/18
4 班	医師 2 名・看護師 3 名・事務 2 名 計 7 名	石巻市 (石巻日赤)	3/16～3/19
5 班	医師 2 名・看護師 3 名・事務 2 名 計 7 名	石巻市 (石巻日赤)	3/19～3/22
6 班	医師 2 名・看護師 3 名・事務 2 名 計 7 名	石巻市 (石巻日赤)	3/22～3/25
7 班	医師 2 名・看護師 3 名・事務 2 名 計 7 名	釜石市 鈴子公園	4/1～4/5
8 班	医師 2 名・看護師 3 名・事務 2 名 計 7 名	釜石市 旧釜石第一中学校	4/10～4/15 (予定)



石巻赤十字病院・正面玄関



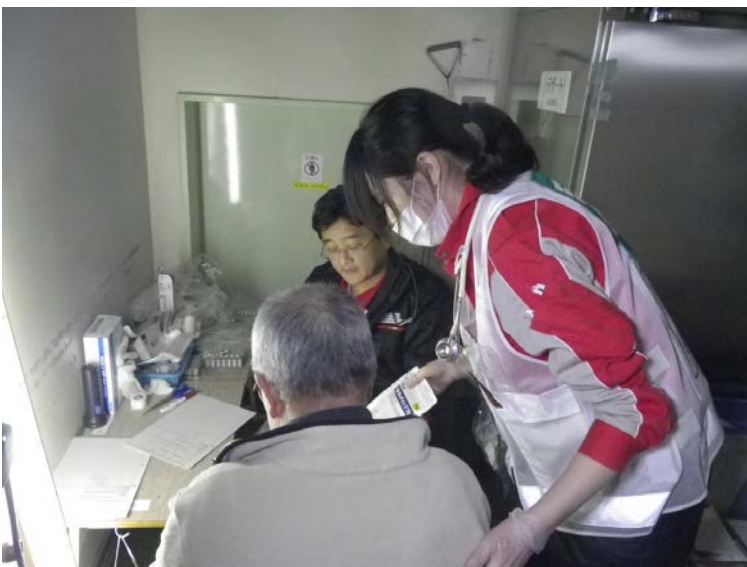
石巻赤十字病院で診療にあたる当院スタッフ



東松島市立大曲小学校



同校・津波で流された車両が残る校庭



避難所内・臨時救護所の診療の様子



ライフラインの絶えている状況下での診療

★★★新任医師紹介★★★

〈平成 23 年 1 月付〉

糖尿病内分泌内科	池田 奈帆子 (いけだ なほこ)	弘前大学 (平成 19 年卒)
----------	------------------	-----------------

〈平成 23 年 4 月付〉

神経内科	鈴木 葉子 (すずき ようこ)	群馬大学 (平成 8 年卒)
外科	土屋 剛史 (つちや たけし)	北海道大学 (平成 10 年卒)
小児科	大沼 健一 (おおぬま けんいち)	旭川医科大学 (平成 15 年卒)
整形外科	長谷川 敬二 (はせがわ けいじ)	東邦大学 (平成 16 年卒)
麻酔科	篠田 健 (しのだ けん)	東京医科歯科大学 (平成 17 年卒)
消化器科	大塚 由紀 (おおつか ゆき)	横浜市立大学 (平成 18 年卒)
放射線科	西畠 瑞希 (にしばたけ みづき)	山形大学 (平成 18 年卒)
外科	三浦 恵美 (みうら えみ)	秋田大学 (平成 19 年卒)
腎臓内科	藤野 綾太 (ふじの りょうた)	浜松医科大学 (平成 21 年卒)
循環器科	田口 有香 (たぐち ゆうか)	浜松医科大学 (平成 21 年卒)



～よろしくお願ひ致します～



※なお、新任医師の専門分野・自己紹介は次月号 (7 月発行) を予定しております。

★★★退職医師紹介★★★

★ 神経内科 (院長)	山之内 博	★ 循環器科副部長	常松 尚志
★ 腎臓内科	垣本 みどり	★ 外科医師	加賀谷 佳奈
★ 外科医師	米山 さとみ	★ 整形外科	井上 泰裕
★ 小児科	加藤 雅崇	★ 放射線科	松久 顕之



～お世話になりました～



【病院の基本理念】

信頼され心あたたまる病院

【基本方針】

1. 安全で質の高い・患者様の立場にたった丁寧な医療を提供します。
2. 救急医療の充実と発展に努めます。
3. 地域医療連携を推し進めます。
4. 災害救護に積極的に取り組みます。
5. 経営の健全化を図りその成果を医療活動に還元します。
6. 医療従事者の教育と研修を推進します。

★★★連携室よりお知らせ★★★

《連携室専用予約枠のご案内》

NEW!

-----泌尿器科-----

火曜日：浅野 桐子医師
木曜日：大塚 幸宏医師（部長） } 各1名 9:00

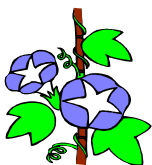
-----眼科-----

火・水・木曜日：秋山 朋代医師（部長） 各2名 9:30

-----消化器科-----

火曜日：太原 洋医師（副部長）
水曜日：諸橋 大樹医師（副部長） } 各2名 9:30
金曜日：井田 智則医師

※なお、後藤医師（副院長）の診察は
随時予約可能です。



お待たせせずにご予約できます! どうぞご利用ください。

《物忘れ外来のご案内》

神経内科にて「物忘れ外来」の診療をしております。毎週水曜日の午後、担当は山之内名誉院長です。予約制となりますので、ご希望がございましたら連携室までご連絡ください。なお、詳細は連携室までお問い合わせください。



《FAX予約について》

患者様のご紹介予約および検査予約をFAXで受付することができます。

『FAX予約申込書』をご用意しておりますので、必要がございましたら連携室までご連絡ください。なお、従来通り電話での予約申込も行っております。

《精神神経科のご案内》

精神神経科の受診は**完全予約制**とさせていただきます。予約をいただいていない場合には、当日受診出来ない場合もございますので予めご了承くださいませようお願い申し上げます。



医療連携室のご案内



受付時間 月～金 8:30～17:00
担 当 看護係長 友岡 道子
MSW 林 達彦、山崎 景子
事務担当 鈴木 文子、水村 加織、鈴木 富士子
休 診 日 土曜日、日曜日、祝祭日
年未年始 (12/29～1/3)
5月1日 (日本赤十字社創立記念日)
T E L 03-3775-3676 (直通)
F A X 03-3775-3653 (直通)
U R L <http://www.omori.jrc.or.jp/>
発 行 人 大森赤十字病院 医療連携室

